

謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。

「広報うきは新年号特集」として、高木典雄市長と櫛川正男市議会議長による対談方式で、うきは市について伺いました。



◎昨年を振り返って印象に残っていることや 課題は何でしょうかー

【議長】

台風・豪雨災害（自然災害の驚異）ですね。近年、全国で毎年のように自然大災害が発生しています。特に今年は、豪雨による河川堤防の決壊が甚大な被害を与えています。当市にも多くの河川があり、心配されるところです。また、山間部においては土砂災害警戒区域が多いため、土砂災害への警戒も重要なことです。

【市長・議長】

台風15号、19号、さらには21号の影響を受けた豪雨により、東日本を中心に甚大な被害が発生しました。亡くなられた方とご遺族に深く哀悼の意を表すとともに、被災された多くの皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

【市長】

うきは市でも、8月に発生しました豪雨により、市道や市が管理している河川、農地、農業用施設、林道などに大きな被害が発生しました。また、台風17号の接近により、柿・ぶどう・梨の落果や水稲の倒伏等、農作物に大きな被害が出たところです。

【議長】

災害から人命を守るためには、早めの避難が重要です。そのためには、危険情報の伝達、避難所の環境整備や自主防災組織による自力で避難が困難な方への支援の取組が欠かせません。日頃から市民皆さんの防災意識を向上させる活動の継続が大事です。

【市長】

今後とも、災害対応等危機管理には万全の体制を図って参りたいと思います。

【議長】

福岡県が造成分譲している久留米・うきは工業団地への株式会社資生堂の誘致、株式会社平野屋物産の工場増設です。

【市長】

そうですね。2月に株式会社資生堂と進出に向けた立地協定がなされ、3月には株式会社平野屋物産と工場増設におけた用地の売買契約が締結されました。大手企業の株式会社資生堂が出資しているというのは、非常に明るい話題でありますし、うきは市としても喜ばしいことです。また、平野屋物産は特許を取ったりしているので、今後も躍進される会社だと考えています。

【議長】

株式会社資生堂の生産工場は、2022年上期の稼働予定で、およそ1,000人近くの新たな雇用の創出、地域経済の活性化が見込まれ、人口減少という課題に直面している当市にとってはチャンスです。特に都市圏からのI・Uターンなどが期待できるため、企業と連携した情報の発信や住宅事情等の受け皿を整備する移住定住の促進の取組が急務です。

【市長】

株式会社資生堂とは、立地協定後、意見交換をさせていただいており、特に雇用の促進及び移住・定住対策については、市として積極的に取組を進めてまいりたいと考えています。

【議長】

次にうきは6次産業化研究開発・事業化支援センター（愛称：うきは夢ラボ）のオープンです。地域の農産物を使って新たなビジネスの創出を応援する目的で新設され、農業者や商工業者が自ら行う、地域農産物等を活用した加工品、地元特産の新商品等の研究開発や事業化に向けた支援を行い、農業者等の所得増大と地域産業の振興を図る施設ですよね。

【市長】

新たな農業振興の取組として、規格外の農作物を有効利用した新たな特産品の開発や農作物の高付加価値を図るために建設を進めてまいりました。6次産業化を推進することで、生産や販売の強化や収益性の向上等、農業の更なる活性化に繋がるものと考えております。また、一方では、うきはの農作物にさらに付加価値を加えるため、「フルーツ王国」と呼ばれる所以を数値的に紐解き、農業に対するポテンシャルの高さを「うきはテロワール」と称し、うきはブランド構築の一つのアイテムとして活用しているところです。

【議長】

るり色ふるさと館は、すべての年齢の人が、学習や研修、趣味を楽しむ機会のために提供される生涯学習施設としてオープンしました。学習活動スペースを備えているだけでなく、生涯学習にかかわる情報の提供や相談に応じる機能のほか、各種団体・グループ等が交流し、ネットワークをすすめる施設です。わたしたちの生涯学習を総合的に支えるステージであります。今後の施設運営に期待するところです。

◎他に2019年の思い出は何かありますかー

【市長】

ラグビー世界大会でずいぶん盛り上がりましたね。市内唯一の浮羽究真館高等学校ラグビー部も「日本中に感動・笑・夢を届けること」を合言葉に目指せ日本一と頑張っています。スポーツ関連だと、うきは市でも初のプロスポーツリーグ「第44回日本ハンドボールリーグ」の開幕戦がうきはアリーナで開催され、ゴールデンウルヴス福岡と大同特殊鋼の試合が行われました。ゴールデンウルヴス福岡は、福岡県全土を拠点にハンドボールと農業を中心とした仕事を両立しながら活動されているチームで、市内での農業経営にも関心を持っていただいております。ハンドボール競技を通じた地域振興にも取り組んでおられ、今後の展開を期待しているところです。



▲7月の「ハンドボールリーグ」開幕戦

【市長】

るり色ふるさと館は、生涯学習活動の拠点であり、全ての市民の皆さまの学びの場・集いの場です。昨今の社会では、「人生100年時代」といわれ、長寿社会となっています。すべての人々が、自ら有する知識や経験を社会に還元しつつ、よりよい社会をつくる主役として、選択的に自身の生きがいを選び取れる一方で、長寿社会にふさわしい新しい価値観などをつくり出していく事が求められています。るり色ふるさと館を、大いに利用していただきたいと思います。



▲7月にオープンしたるり色ふるさと館

また、37年ぶり、市として初めての開催となる冬巡業大相撲うきは場所が開催され、朝早くからテレビでは味わえない臨場感や力士たちの息づかいなど迫力を堪能し、たくさんの元気や活力を得ていただくとともに、伝統文化としての魅力も味わっていただきました。昨年はまさしくスポーツイヤーでした。

【議長】

宮城野親方は、うきは出身でしたよね。

【市長】

はい。大相撲宮城野部屋、宮城野誠志親方は、浮羽町出身で、現在、大横綱白鵬関や炎鵬関、石浦関等を育てられていらっしゃいます。



▲12月の「大相撲冬巡業うきは場所」

◎議長に質問です。今後、行政にどのような政策提案をしていきたいですかー

農業基盤の再生、少子高齢化・若者の流出・人口減少・空き家対策、外国人就労者支援です。まず、農業の担い手や後継者不足、耕作放棄地の増加が進む中、当市の農業を支える人材となる青年層の新規就農者を確保し、定着を促進することが喫緊の課題です。担い手不足を解消できるような、人材の育成や経営面での支援が必要です。次に、少子高齢化と加速度的に進行する人口減少を考えると、地元に住み続けたいと考える若者を増やすため、就業先の誘致、子育て支援やコミュニティ支援等による若者の流出抑制、市外からの移住定住の促進を図ることが重要です。また、空き家対策法で、自治体が空き家の所有者に対する適切な管理指導・活用を促進できるようになったことや、自治体が「特定空き家」に指定して、立木伐採や住宅の除却などの助言・指導・勧告・命令・行政代執行ができるようになりました。



こういった法律を基に「空き家バンク」などと連携し、再活用できるような取組が必要です。

最後に、当市においても年々増加している外国人居住者（令和元年11月末現在267人）に対する支援です。昨年には、新しい在留資格が設けられた改正出入国管理法が施行されました。受入れできる分野は、介護・建設・農業等14分野とされ、5年間の受入見込数は全国で約35万人とされています。当市においても外国人就業者が増加していくと予想されるため、多言語を使った行政情報、生活情報の伝達手段などの生活支援体制を整備し、在留する外国人の方が住みやすい環境づくりが求められています。

◎市長の思いはいかがですかー

令和最初の新年を迎え、官民協力や地域間連携を積極的に図りながら、主要計画及び政策等を基軸として市政運営を行って参ります。その一方で、縮小していく社会に対応すべく、事業の見直し、効果の薄いものについては再考すべき時でもあります。時代の流れを的確に捉え、身の丈にあった「うきは市」の行財政運営を確実に実行していかなければなりません。事業の実施にあたっては、「うきは市ルネッサンス戦略」と「第2次うきは市総合計画」、そして、

「うきは市教育大綱」等に位置づけられた事業を通じて、活力と魅力あるうきは市の形成に向け、取組を加速しつつ、見直しを行い、引き続き事業を進めてまいります。

うきはの地にある素晴らしい自然環境や人々のつながり、これまで先人が築いてきた地域の伝統、文化など価値ある貴重な資源や財産の特性にさらに磨きをかけ、地域の一体的な発展を目指し、新しいうきは市をつくり上げて参りたいと思います。また、人生100年時代となった今、いくつになっても学び直しができ、新しいことにチャレンジできる社会を作っていく必要があります。



◎最後に市民の皆さまに一言ー

【議長】

今年の干支は「庚子（かのえね）」です。

「庚」は、成長を終えた草木が次の世代を残すために花や種子を準備する状態を表すようで、「子」は、固い種に押し込められていた生命が、新たに芽生えて、いろいろな方向に育ち始める状態を表すそうです。これまでに振り返り、引き継ぐべきものを維持しつつ、新たな環境や局面に向けて体制を整えていく年だと思っております。新しい年を迎えるにあたり、未来に向かって大きく飛躍できる年となるよう、皆さまとともに歩んでまいりたいと思います。最後になりましたが、この1年が皆さまにとって、健康で幸せ多い年でありますよう、心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

【市長】

令和2年がスタートいたしました。市民の皆様にはおいては、健やかに輝かしい希望に満ちた令和最初の新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。また、旧年中は格別のご理

解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。生活環境や地域力の向上を図ることにより、いつまでも住み続けたいと思える、まちづくりを推進し、誰もが健康で心豊かな生活が送れ、次代を担う子供たちのために、夢と希望に満ちたうきは市のまちづくりを市民の皆様とともに進めてまいります。一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって幸多き素晴らしい年となりますことを心より祈念いたしまして、新年のあいさついたします。

